

令和5年度の主な事業

今年度の主な事業を紹介します。事業は目的別に分類しています。

1 市民力を活かしたまちづくり

協働のまちづくり推進事業 2,404万円



市民と行政の協働のまちづくりのもとで各地区で策定した「地区計画」の見直しを行い、市民力を活かした地域づくりを推進します。

今年度、①～⑤の事業は特に力を入れてまいります。



2 子育てしやすい環境づくり

新 新 出産祝金支給事業
出産・子育て応援事業 1,698万円
学校給食費等助成金交付事業



すべての子育て世帯が安心して出産・子育てできるように出産祝金の第2子以降拡充、保育料、学校給食費の第2子以降無償化により子育て家庭への経済的支援を推進します。

3 ゼロカーボンシティの実現

環境保全対策推進事業 6,560万円
市庁舎維持管理事業



2050年カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現に向け、温室効果ガスの排出量削減を図るとともに、スマートエコライフを推進します。

4 大雨時の防災減災対策

駅前花島線・大沼野田前線・南町斗蔵線道路整備事業等 3億2,700万円



防災・減災構想に基づき、市街地への雨水流入阻止や冠水に対する雨水排水ポンプ施設の整備、大雨時の緊急輸送経路・避難経路確保のための整備工事を行います。

5 新しい学びから未来を創ろう

次世代育成推進事業 424万円



「高校生地域探究活動支援」「かく大学」等を通して、新たな学びの場から次世代と地域社会をつなぎ、変化する地域社会で主体的な学びやアクションを後押しし未来へ生かす学びの循環を創出します。

角田駅からの循環バス試験運行

新 二次交通確保対策事業 95万円



スクールバスを活用し、イベント開催日などに角田駅から市内観光施設等を巡る循環型バスの試験運行を行い、移動ニーズを把握します。

移住定住の推進と関係人口の創出

新 移住定住推進事業 990万円



新婚世帯の移住・定住を進めるための補助金交付や移住推進のためのPR事業、各種体験型事業を充実させ、関係人口の創出拡大を図ります。

マイナンバーカード普及促進の充実

番号法対応事業

8,795万円



コンビニ交付サービスの利用を促進させ、市民の利便性の向上を図ります。また、マイナンバーカードの申請等業務を委託し、交付率の向上を図ります。

家庭の養育環境の整備

新 児童相談事業

1,131万円



育児支援が必要と認められる世帯に対し、家事・育児訪問支援員を派遣し、家事や育児等の援助を行い、養育上の課題解決や養育力の育成、向上を支援します。

新生児・乳幼児の健康保持増進

新 乳幼児健康診査事業

930万円



屈折検査機器を使った視覚検査や新生児聴覚検査等を実施することで、視覚や聴覚に関する異常を早期に発見し、新生児と乳幼児の健康保持と増進につなげます。

持続可能な農業の推進

新 資源循環型農業推進事業

250万円



資源循環型農業を推進するため、資材費購入経費や取り組みの推進に要する経費の一部を助成します。

農業の担い手を確保

人・農地プラン推進事業

2,112万円



新規就農者の農業用機械や施設などの取得費用の一部を助成します。また、農業者の高齢化への対応として、将来にわたり地域の農地利用を担う経営体を確保することを目的に、経営継承・発展支援事業を行います。

商店街の活性化を支援

商業振興事業

468万円



商店街の経営者が抱える課題・ニーズ等を調査し、効果的な支援策の検討を進め、商店街と道の駅かくだの連携を図るなど、街なかの賑わいと地域経済の活性化を推進します。

中小企業者の経営安定化

中小企業振興資金融資事業

1億6,296万円



中小企業振興資金融資制度の活用や新型コロナウイルス感染症等により事業活動に影響を受けた事業者への利子助成を行い、中小企業者の事業継続、経営の安定化を図ります。

歩行者と車両の安全確保

住社橋橋りょう整備事業

1億445万円



歩行者と車両の円滑な通行と安全を確保するため、河川改修と併せて野田地区と中心市街地を結ぶ住社橋（大沼野田前線）の橋りょう整備を計画的に進めます。

地域クラブ活動の体制整備

新 社会教育推進事業

591万円



将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、学校と地域との連携・協働により生徒の活動の場として新たな地域クラブ活動の体制整備を図ります。

新たな産業用地造成へ

産業用地造成事業

5,791万円



新たな産業用地の造成を行い、地域密着型企業の誘致を戦略的に推進することにより、就業環境の整備と新たな雇用の創出を図ります。